

未来の扉 3月号



【学校教育目標】

未来に向かって「かがやけ」内房の子

㊦んがえてつたえます ㊦んばってやりぬきます ㊦さしくします ㊦んこうになります

内房小学校
第6学年 学年便り
R4.2.25

4月に、緊張の中6年生のスタートを切って早くも1年間が過ぎようとしています。振り返ると、6年生との様々な学校生活の中、数え切れない思い出が頭をよぎります。この1年間の6年生のがんばりを思い起こすたびに、心身共に大きく成長したことを実感します。これまで培ってきた力は、間違いなく中学校での生活に生かされます。期待を胸に、最後の月を過ごしていきます。

この1年、13名の子供たちとともに楽しく、充実した日々を過ごせたこと、そして子供たちが成長してこられたことは、保護者の皆様の御理解・御協力のおかげです。深く感謝いたします。1年間、本当にありがとうございました。

3月の生活目標

感謝の心で生活しよう

6年生 「6年間の感謝を表そう」

6年間過ごしてきた学校、共に過ごしてきた仲間、お世話になった人やもの。小学校生活を振り返り、これまで自分と関わってきた人・ものに、感謝の気持ちを持ち、表現できるよう支援していきます。

★卒業式 18日（金）

- ・8：45 卒業生登校（教室集合）
- ・9：00～9：10 保護者受付（体育館）
- ・11：00 終了予定
- ・11：20頃 下校

卒業式・写真撮影後、教室に戻って学活を行い、その後解散となります。詳しい流れについては、懇談会の時にさせていただきます。保護者の方は受付での検温、マスク着用にご協力ください。よろしくお願いいたします。

2月の道徳から

「差し出し続けた大きな手」という資料から、相互理解について考えました。アパルトヘイトによって差別されてきた黒人のネルソン・マンデラは、この差別をなくそうと勉強し、働きかけ続けた。南アフリカの大統領となり、国民の気持ちを一つにすることができた。活動を続けたネルソンの思い、互いを理解するために大切なことを話し合いました。

「差別をなくし、みんなが平等な国にしたい」「南アフリカをもっといい国にしたい」など、分かり合うために活動したといった意見が出ました。また、理解しあうためには、相手の話をしっかり聞くこと、相手の立場を考えることなど、自分だけでなく相手を思う心が大切だと考えていました。中学へ行き新しい出会いがある中で、分かり合えるように相手を思いやる心を忘れずにいてほしいですね。